

2019年4月13日

報道関係各位

中部学院大学短期大学部
社会福祉学科

短期大学部新入生 宿泊研修を開催

白川村で大自然に触れ、高齢者らと交流を深めます

中部学院大学短期大学部社会福祉学科（学長 片桐多恵子、学科長 吉川杉生）は新入生を対象とした宿泊研修（「つながレッツ白川 GO 2019」）を実施します。

本学と白川村は 2011 年に連携協定を結び、**▼地域の発展と住民生活に関する共同研究 ▼地域の生活文化と自然を生かした教育プログラムの開発 ▼村民に対する生涯学習機会の提供 ▼福祉を発展するための協力**などを進めています。

今回の研修は 1 泊 2 日の日程で、「つながる」をコンセプトに、白川村の大自然や生活に触れながら、仲間づくりや学生と教員のコミュニケーションを深めるほか、**地域の高齢者や園児らとの交流を深め、人間力を養います。**なお、今回の研修には介護人材確保に関する国の施策で入学した学生や留学生（※）も参加します。

記

- 日 時 2019年5月8日（水）～5月9日（木）
- 場 所 （宿泊先）岐阜県大野郡白川村馬狩 223 トヨタ白川郷自然学校
（活動先）自然体験プログラム 同村馬狩（トヨタ白川郷自然学校）
村内交流プログラム 同村荻町・鳩谷・平瀬
- 参加者 短期大学部社会福祉学科 1 年 約 70 名（教職員除く）
※ 国の実施する「職業訓練（介護福祉士養成科）」17 名の学生、介護福祉士取得を目指すベトナム、ミャンマー、中国、キルギス、フィリピンからの留学生約 20 名も参加します。
- 目 的
 - ・ 学生同士の仲間づくりや、学生・教員間の理解と信頼を深める。
 - ・ 地域住民との交流や地域の活動に参加し、幅広いコミュニケーション力や行動力を高める。
 - ・ 日本の伝統文化や自然・風土を体験し、人々の人生や生活を尊重した介護支援を学習するきっかけとする。

■ 内 容

① 自然体験プログラムと学生交流（5月8日）

トヨタ白川郷自然学校周辺の自然散策と、学生実行委員が企画する新入生交流レクリエーション活動を実施する

② 村内交流プログラム（5月9日）

グループに分かれ、村内の婦人会との郷土料理づくり、特別養護老人ホームや保育園交流など、高齢者や子ども、地域住民とのふれあいを通して地域社会の生活を学ぶ

■ひまわり会 郷土食づくり体験（10:00-12:00、旧白川小学校）

■白川保育園 園児との交流会（10:00-11:30）

■じ・ば工房 ひで細工づくり体験（10:00-12:00）

■伝統的建造物/合掌家屋（花植家）体験学習（10:00-12:00）

■瀬音さくら山荘 利用者との交流（10:30-12:30）

以上

（本件に関するお問い合わせ先）

中部学院大学 短期大学部 社会福祉学科（担当：吉川 杉生）TEL:0575-24-2211

大野郡白川村役場 観光振興課商工観光係（担当：二俣 慎弥）TEL:05769-6-1311